

カーボンニュートラルの推進に ついて

富山県カーボンニュートラル推進課

地域脱炭素ステップアップ講座のねらい

- 温室効果ガスによる地球温暖化

→気候変動問題、環境問題は待ったなし



- 脱炭素を通じて、地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる→具体的な取組みにつなげる

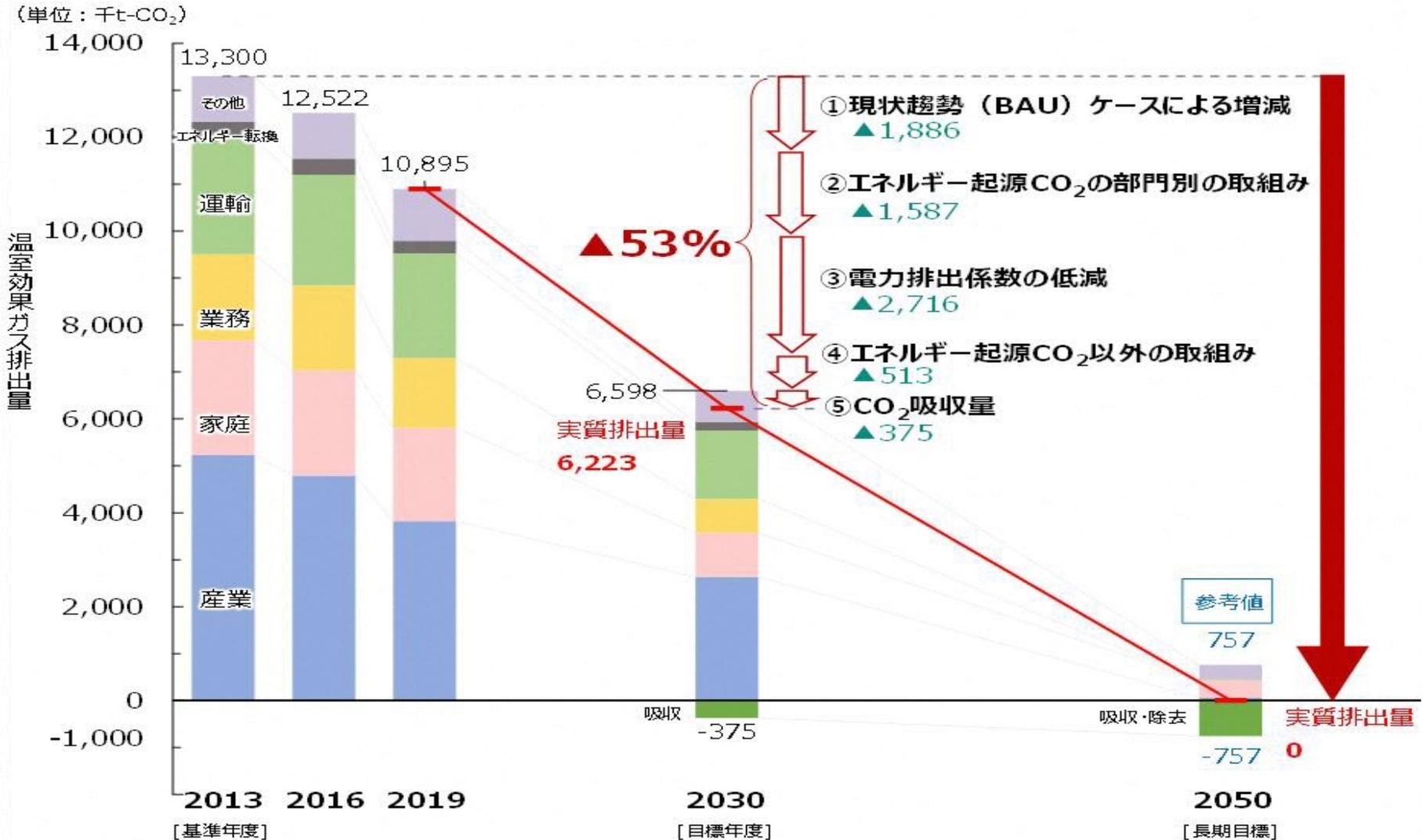
- 実行計画の策定、実行
- 公共施設への再エネ導入
- サプライチェーンの中で選ばれる民間企業育成

等

ピンチをチャンスに

中期目標①

温室効果ガス排出量 2030 年度に 53%削減 (2013 年度比)

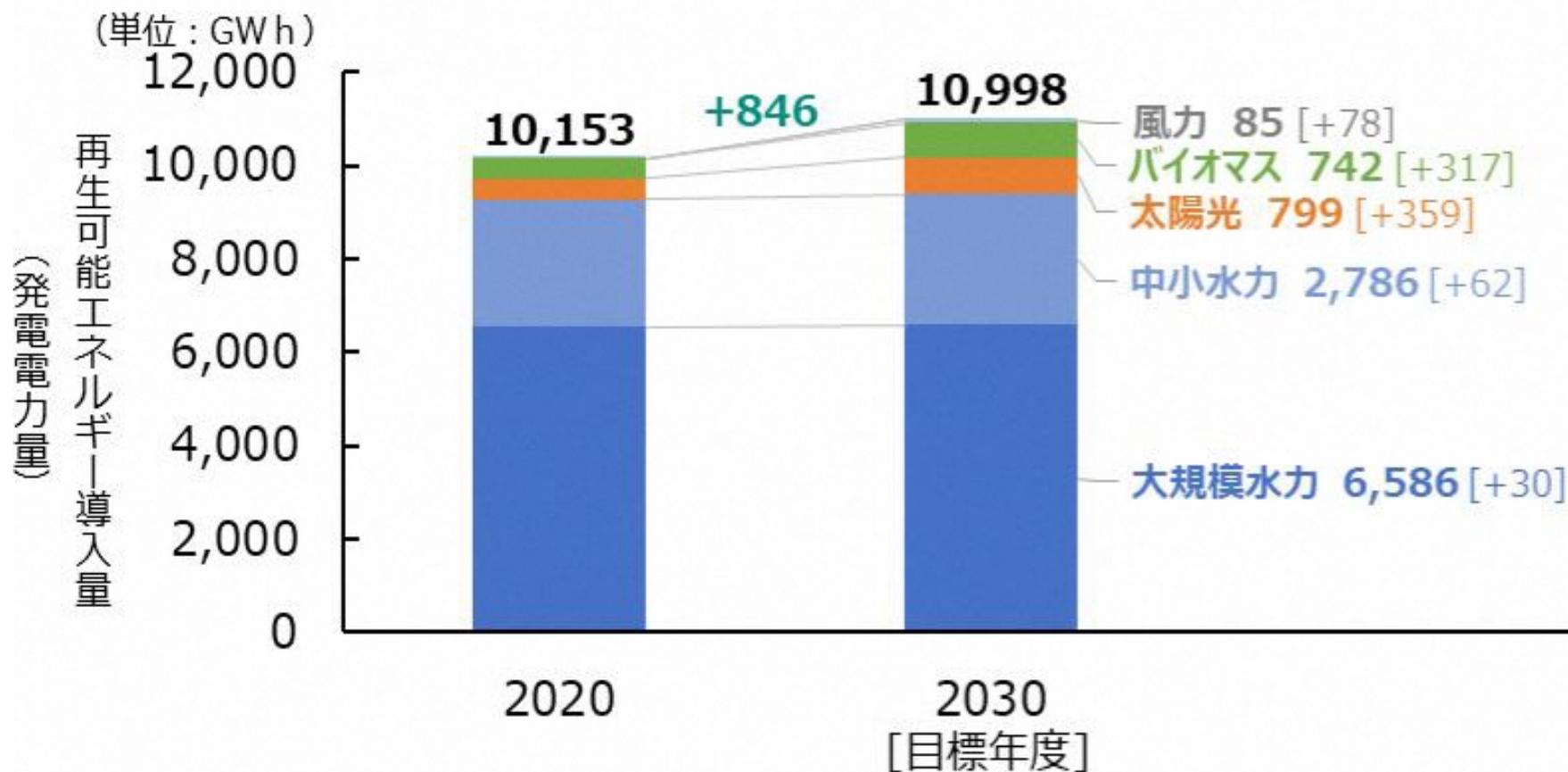


再生可能エネルギー導入量

中期目標③

再生可能エネルギー電力 2030年度に+846GWh 導入 (2020年度比)

再生可能エネルギー熱利用 さらなる導入拡大



再生可能エネルギー導入量（CN戦略より）

種類	導入規模
太陽光発電 + 359 GWh/年	住宅：1.9万戸 × 5kW（2030年度に新築の6割に設置） 公共施設：現状比2倍 その他建物：導入ポテンシャルの約5% に相当
水力発電 + 92 GWh/年	計画中27件（12MW） + 新規10件（3MW） に相当 ※2050に向けてポテンシャルを十分活かせるよう取組む
風力発電 + 78 GWh/年	計画中 2件（陸上：朝日町、洋上：入善町） ※2050に向けて新規の洋上風力を設置できるよう取組む
太陽熱 + 13千m ²	住宅 約3.3千戸（2030年度に新築の1割に設置） に相当
地中熱 + 200台	把握可能な2006年度からの年平均導入量（年間約2.3台）の10倍を目指す（23台/年 × 8年 = 184台 → 200台）

第9章 県庁の率先行動 (別冊2 県庁の率先行動)

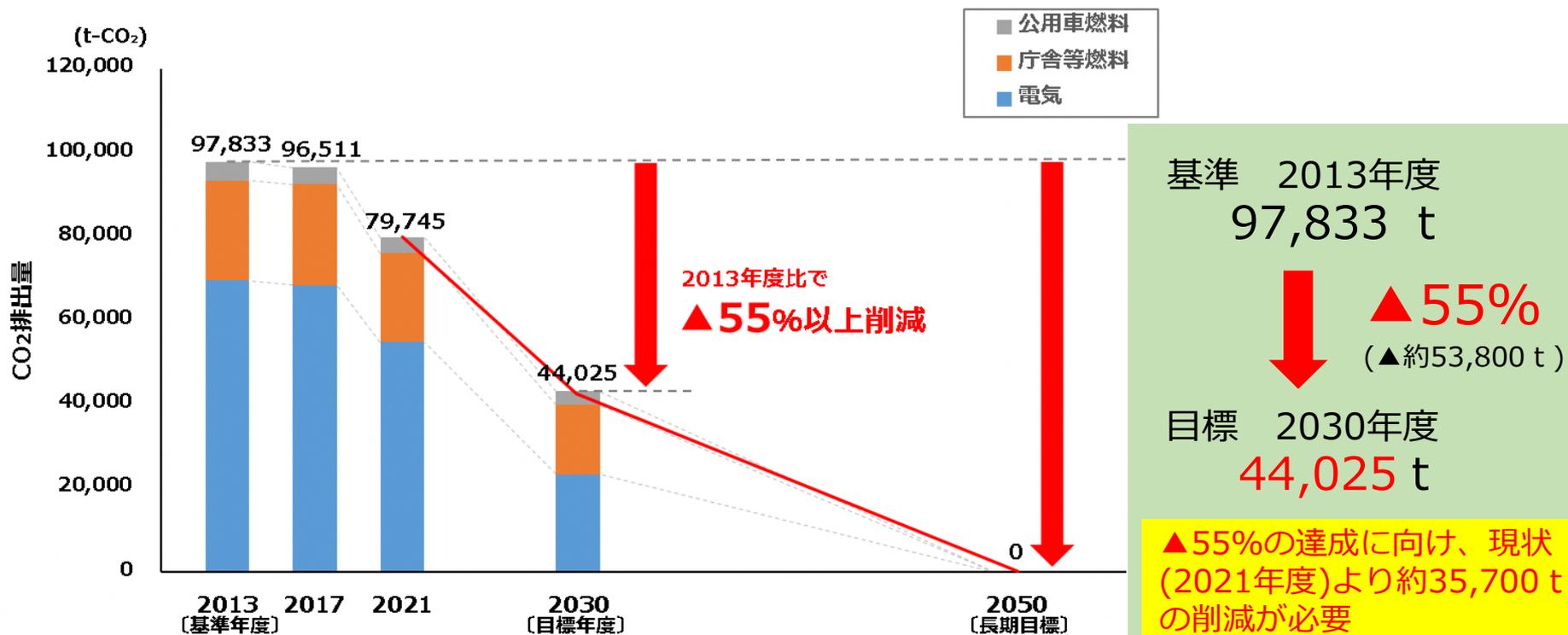
位置付け 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編）

対象 県自ら行う事務事業に伴うCO₂排出量など

〔対象機関〕 知事部局、議会事務局、企業局、教育委員会事務局、警察本部及び各行政委員会事務局
の本庁及び出先機関（県立学校、警察署を含む。）、指定管理者制度導入施設

目標

CO₂排出量 **2030年度に55%以上削減**（2013年度比）



県の公共施設におけるCO₂排出量削減に向けた取組みと削減量の推計

項目	CO ₂ 削減量 (t)
LED照明への転換 2030年度までに100%LED化	3,159
太陽光発電設備の導入 設置可能な県有施設の50%に設置	371
ガソリン車の電動車化 ガソリン車を電気自動車に更新	720
建築物のZEB化 新築建築物は原則 ZEB Ready相当以上	2,137
燃料転換 重油、灯油から電気、都市ガスに転換	2,009
環境に配慮したエネルギーの調達 再エネ電力等の調達	1,623
合 計	10,020

排出量取引市場の稼働、炭素に対する賦課金制度の導入



RE100企業からのサプライチェーンへの要請



- RE100加盟企業の中には、自社の再エネ比率100%を達成したのち、**サプライヤーに再エネ利用を求める企業も**でてきている。

•Apple (米)

- AppleのCO2排出量の74%を占める製造工程の再エネ転換に向けて、2015年から**サプライヤー・クリーンエネルギープログラム**を開始。
- 日本企業（太陽インキ製造社(埼玉県)等）を含むサプライヤー各社がプログラムに参加し、Appleは2020年までにサプライチェーンで4GWのクリーンエネルギーを調達するという目標を達成。
⇒Apple製品製造時の約1/3の消費電力に相当。
- 2030年までに、サプライチェーン全体、及び製品のライフサイクルにおいてカーボンニュートラルを達成する計画を発表。



太陽インキ製造社 水上メガソーラー



Apple新本社の屋上太陽光
(カリフォルニア クバティーン)

(出所) アップル社ウェブサイト<https://www.apple.com/jp/newsroom/2018/04/apple-now-globally-powered-by-100-percent-renewable-energy/>

https://www.apple.com/environment/pdf/Apple_Supplier_Clean_Energy_Program_Update_2021.pdf

太陽ホールディングス株式会社ウェブサイト<https://www.taiyo-hd.co.jp/jp/news/2018/p3597/>